

水質事故被害拡大防止訓練座学研修会

- 日時・場所：平成 26 年 9 月 18 日（木）13:30～16:45 ライズヴィル都賀山
平成 26 年 10 月 14 日（火）13:30～16:45 甲賀合同庁舎 4 階 A 会議室
- 主催：湖南・甲賀環境協会 滋賀県南部環境事務所 滋賀県甲賀環境事務所
- 参加者：会員 87 名、会員外 30 名、行政名 36 名 計 153 名
- 参加費：無料（社会貢献として会員外の方にも参加費無料としております。）

水質事故被害拡大防止訓練の前段階で予備知識習得を目的に、今年度より地区懇部会の事業として独自開催しました。

環境事故防止を起さない（事故対策の自主管理方法）、万が一事故が起きた場合被害を最小限に抑えるにはどうしたらいいか（クライシスマネジメント）、緊急資材の有効な使用方法について講演をしていただきました。

この研修会は滋賀県より大変有効と認めていただき、滋賀県琵琶湖環境部の職員研修に位置づけられています。管外の滋賀県職員の参加はもとより、本年度より管外の市町環境担当職員、また、社会貢献の一貫として一般の参加も受入ました。



進行：地区懇部会長（南部会場）清水氏
ダイハツディーゼル株式会社守山事業所守山工場



地区懇部会長（甲賀会場）田邊氏
TOTO 株式会社滋賀工場



ご挨拶 滋賀県南部環境事務所 松村所長



滋賀県甲賀環境事務所 青山所長

1. 環境事故防止対策の推進に向けて ～環境事故事例と自主管理方法～

講師：NPO びわ湖環境 理事 佐野 由明氏



昭和40年代は、環境というと典型7公害の規制だけでしたが、近年は低炭素社会、循環型社会、生物多様性・・・と環境の対象分野は大変多くなりました。

そんな中、今一度足下を見つめ、環境事故防止に努めることが重要です。油等流出事故が起こったら、被害・損害は大きく、事故への対処が悪かったら、企業のイメージダウンにつながります。

ちょっと点検ミスやヒューマンエラーや設備の老朽化による事故で、何千万円～土壌汚染になってしまうと何億の損害につながります。

失敗から学ぶとして、過去の事故事例の紹介

をいただき、どのような観点で自主管理すべきだったか説明いただきました。

事故防止の対策として、

①施設・設備のリスクに応じた整備、運用システムの構築。

緊急資材の準備・劣化していないか定期的な点検

②リスクの存在とその大きさを見誤らない目を養う。

機能する組織の構築 適正な人数、人の教育 マニュアルの整備、地域・行政とのコミュニケーション。教育や訓練

③失敗原因の根本的、本質的対策

事故が発生したら目に見えやすい直接原因、間接原因のみを除去するととどまってしまうが顕在する間接要因、潜在要因、背後要因の具体的にあげて対処することが大切です。

④リスク情報は意識の共有まで高める。

⑤法の求める事項について対応が必要。

事業者の公害防止に関する環境ガイドラインに具体的な確認ポイントがあるので社内で共有化して下さい。

2. 環境事故被害拡大防止の為の資材の有効な使用方法

講師：谷口商会(株)小野 雄二郎氏



今年度も谷口商会（株）小野様が岡山県から講師として来てくださいました。

①事故が起こった場合は初動対応が重要

- ・漏洩元をまず止める。漏洩した油の拡散の防止。
- ・適切な資材で拡散を防止するためには資材の使用方法を理解する。

②河川では中和剤を使用しない。

- ・油は中和できない。被害を拡大するの。

③二次災害に注意する。

- ・揮発性のある油の対処は風上で行なう。
- ・油の特性を理解して引火・爆発などに注意する。

ACライトを使用した吸着や簡易な油吸着型のオイルフェンス、オイルフェンスの使用方法等、時系列に資材の特性を生かした使用方法を実演を交えて研修していただきました。

小野様 有り難うございました。

最後の湖南・甲賀環境協会 会長 ダイキン工業（株）滋賀製作所の堀田氏より挨拶いただきました。



以上